

第 1 部

鳥取県のめざす教育

- 1 鳥取県教育振興基本計画 ～未来を拓く教育プラン～
- 2 鳥取県学校教育のめざすもの
- 3 移行措置について
- 4 授業実践のために



1 鳥取県教育振興基本計画 ～未来を拓く教育プラン

基本理念 自立して心豊かに生きる

自立して生きる力

- 生きていくために必要な知識、技能、教養を備え、学び続ける姿勢
- 主体的に考えて判断し、他者と協働しながら課題を解決していく力
- 志を高く持ち、自らの夢を描きながら粘り強く挑戦し、実行していく力

豊かな心と健やかな体

- 心とからだの健康づくりや体力の向上に取り組む姿勢
- 思いやり、たくましさ、感動する心など豊かな人間性を発揮できる力
- 文化、芸術、スポーツ、読書やボランティアなどの活動に積極的に取り組む姿勢

基本理念を支える

5つの目標と特に力を入れ

1 社会全体で学び続ける環境づくり

(1) 社会全体で取り組む教育の推進

- 学校、家庭、地域の連携、協力体制の構築

(2) 家庭教育の充実

- 保護者同士のネットワーク形成

(3) 生涯学習の環境整備と活動支援

- 図書館、博物館等の社会教育施設の機能の充実

2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

(4) 幼児教育の充実

- 発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実、発展

(5) 学力向上の推進

- スクラム教育等による校種を超えた連携の拡大

(6) 特別支援教育の充実

- 個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供

(7) 社会の進展に対応できる教育の推進

- 英語教育の充実、ICTの活用、手話の取組によるグローバルマインドとコミュニケーション力の育成

(8) 豊かな人間性、社会性を育む教育の推進

- いじめ、不登校等の未然防止、早期対応

(9) 健やかな心と体づくりの推進

- 学校と地域が連携した体力向上

3 学校を教育環

(10) 人口減少捉えた学

- 社会のニーズの在り方検討

(11) 特色ある

- 学校裁量予算ティースクーを發揮した取

(12) 人的、物充実

- 中長期的な視リーダーの育

(13) 安全、安整備

- 食物アレルギー対応できる体

(14) 私立学校

- 私立学校の多
※私立学校の所管は

●鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制 ◆県民との協働による開かれた

未来を創造する 鳥取県の人づくり

社会の中で支え合う力

- 人々との関わりを大切にし、コミュニケーションを豊かにとることのできる力
- 自他ともに尊重し、人権や命を大切に共々に生きる姿勢
- 社会の一員としての自覚と規範意識を持ち自らを律する力

ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力

- ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
- 地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
- グローバルな視点を持ち、社会の変化に対応しながら新たな価値を創造していく力

4つの「力と姿勢」

たい18の施策と重点取組

支える境の充実

期を好機と校教育の充実

に対応した県立学校

学校運営の推進

の活用やコミュニ
ル等、学校の自主性
組推進

的な教育資源の

点での若手、学校
成

心な教育環境の

一等現代的な課題に
制整備

への支援の充実

様な取組への支援
知事部局です。

4 生涯にわたって運動、スポーツに親しむ環境づくり

(15) ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実

○幼児期からの運動習慣づくり

(16) トップアスリートの育成

○ジュニア期からトップレベルに至る体系的な指導体制等の充実

5 文化、伝統の継承、創造、再発見

(17) 文化、芸術活動の一層の振興

○子どもたちや若者が文化、芸術に触れ、感性を高める機会の提供

(18) 文化財の保存、活用、伝承

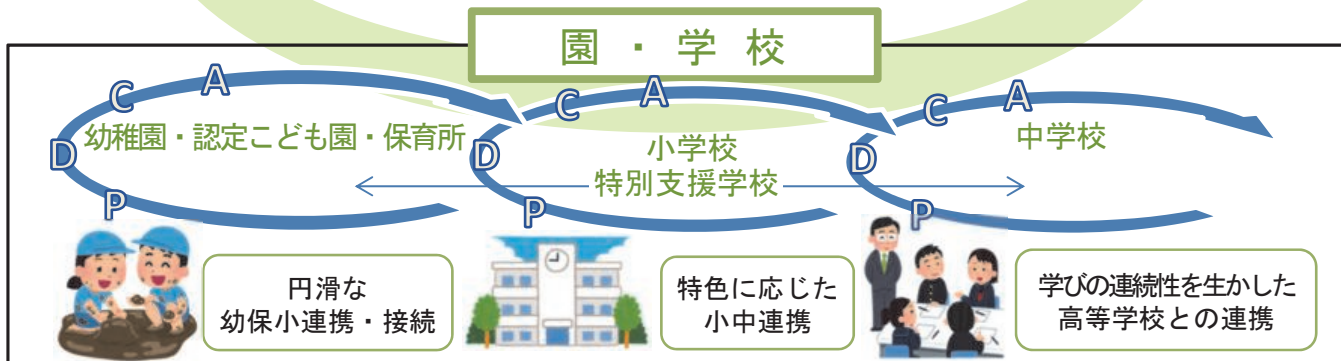
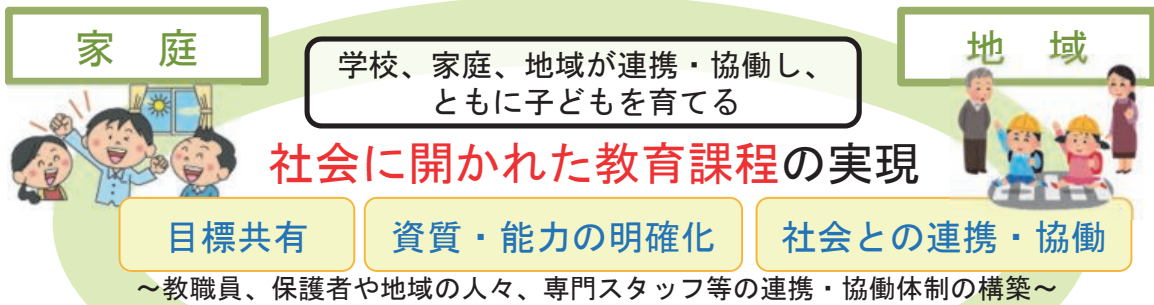
○祭り、行事などを地域で伝承していく活動の支援



2 鳥取県学校教育のめざすもの

自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県の人づくり

確かな学力の向上 健やかな心と体の育成



教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す

「カリキュラム・マネジメント」 教科等横断 PDCA 資源活用

幼児教育の充実 遊びきる子どもの育成

- 幼児教育・保育と小学校教育の相互理解及び幼保小の円滑な接続
- 幼児教育・保育と小学校教育の充実

幼児教育センター
平成29年4月開設

確かな学力の向上 「とっとりの授業改革【10の視点】」

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 組織的な教職員の指導力向上
- 少人数指導、チーム・ティーチング等の効果的な指導の工夫
- 優れた指導力を有するエキスパート教員の活用
- OJTの推進、授業研究会の工夫等による若手・ミドルリーダーの育成

特別支援教育の充実

- 各園・学校における支援体制の整備と充実
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用
- 実態に応じた教育課程の編成 ○個に応じた指導・支援の充実

社会の進展に対応できる教育

- ICTの活用・推進による学力向上 ○英語教育、手話教育、環境教育の推進

豊かな人間性、社会性の育成

- 人権教育の充実
- 自然体験活動やふるさと教育の推進
- 学校図書館の充実（読書センター・学習センター・情報センターの機能の充実）
- 体験活動、問題解決的学習を重視した道徳教育の充実 ○キャリア教育の充実

学校図書館支援センター
平成27年4月開設（県立図書館）

健やかな心と体づくりの推進

- 生徒指導上の諸問題の未然防止、早期対応
- 学校体育の充実 ○運動意欲や体力・運動能力の向上
- 健康教育（学校保健・学校安全・食育）の充実

3 移行措置について

＜今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール＞

	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)
幼稚園	周知・徹底	30年度～全面实施				
小学校	周知・徹底	移行期間 教科書検定 → 採択・供給		32年度～全面实施 使用開始		
中学校	周知・徹底	移行期間 教科書検定 → 採択・供給			33年度～全面实施 使用開始	
高等学校	改訂	周知・徹底	移行期間 教科書検定 → 採択・供給			34年度～年次進行で実施 使用開始

小学校

平成30年度から先行実施

- * 特別の教科道徳、総合的な学習の時間及び特別活動は、新しい学習指導要領によること。
- * 新学習指導要領の外国語活動及び外国語科の内容の一部を加えて必ず取り扱う。外国語活動で、第3、4学年は15単位時間、第5、6学年は15単位時間増加させた50単位時間とし、総授業時間数が第3学年から第6学年まで各学年において15単位時間増加。
- * 国語、社会は、全部又は一部について新学習指導要領によることができることとするが、現行学習指導要領による場合には、新学習指導要領に定める内容の一部を追加又は適用する。
- * 理科は、現行学習指導要領の一部を省略する。

平成30年度から学校の判断で先行実施

- * 移行期間中に新学習指導要領に規定される外国語科及び外国語活動の授業時数及び内容を指導することが可能。
- * 生活、音楽、図画工作、家庭、体育は、全部又は一部について新学習指導要領によることができる。

平成30年度から国が教材を整備・配付して先行実施

- * 算数は、移行期間中に指導すべきとされている内容に係る補助教材の配布を予定。
- * 外国語活動は、指導すべきとされている内容に係る補助教材を平成29年度中に配布予定。

中学校

平成30年度から先行実施

- * 総合的な学習の時間及び特別活動は、新しい学習指導要領によること。
- * 数学は、新学習指導要領の一部を追加又は適用。また、それに応じて現行中学校学習指導要領の一部を省略又は適用しない。
- * 国語は、新小学校学習指導要領により小学校等で新たに学習することとなる漢字を必ず取り扱う。また、新中学校学習指導要領に定める内容の一部を追加。
- * 理科、保健体育は、現行学習指導要領に定める内容の一部を指導学年を前倒して実施。また、新学習指導要領の一部を追加又は適用する。それに応じて現行学習指導要領に定める内容の一部を省略又は適用しない。

平成30年度から学校の判断で先行実施

- * 道徳及び特別の教科道徳は、平成30年度においては、全部又は一部について新学習指導要領によることができる。また、平成31年度および平成32年度においては、新学習指導要領によること。
- * 社会は、全部又は一部について新学習指導要領によることができることとするが、現行学習指導要領による場合には、新学習指導要領に定める内容の一部を追加又は適用。
- * 音楽、美術、技術・家庭、外国語は、全部又は一部について新中学校学習指導要領によることができる。

平成30年度から国が教材を整備・配付して先行実施

- * 数学、理科は、移行期間中に指導すべきとされている内容に係る補助教材の配布を予定。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて みんなで創ろう！ とっとりの学び



鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっとりの **授業改革【10の視点】**

知的好奇心 の喚起

① 魅力的な課題・教材の提示

- ・自ら問いを見出し、調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示する
- ・学習への見通しを持たせる

② 体験的な学習の充実

- ・これまで学んだこととのつながりを意識させる
- ・地域の人・もの・ことなど日常生活とのつながりを意識させる
- ・具体物や視聴覚教材を使用する
- ・実験や作業を取り入れる

活用する力を育てる

言語活動と学習評価

③ 資料の活用

- ・問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する
- ・考えの形成のために情報を精査させる

④ 思考の整理

- ・調べたことやわかったことをノートに書かせる
- ・問題の解き方や考え方をノートに書かせる

⑤ 説明・発表の機会の充実

- ・考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する

⑥ 学び合う活動の充実

- ・ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する
- ・考えを広げたり深めたりする活動を設定する
- ・意見交換や議論の場を設定する

指導と評価の一体化

⑦ 学習評価の推進

- ・一人一人の学習状況や実現状況を把握する
- ・個に応じた手立てや支援を行う

次につながる 振り返り

⑧ 学習を振り返る活動の設定

- ・「振り返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わわせる
- ・次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する

⑨ 家庭学習と連動した学びの定着

- ・学校で学んだことが家庭での復習や予習および自主的な学習につながるような支援に努める

⑩ 落ち着いたのびのびと学べる環境づくり（学びの集団・人間関係づくり）

※本冊子の各教科等の「授業展開例」及び「本時の指導」には下記のように【10の視点】

①～⑩を示し、指導・支援のポイントを記入していますのでご活用ください。

（例：中学校数学）

学習内容	発問と予想される生徒の反応	教師の支援
<p>4 「$\angle BRP$の大きさが一定である」ことの証明を振り返り、条件を変えて考える</p> <p>↑</p> <p>【10の視点】 ⑤説明・発表の機会の充実</p> <p>正三角形で成り立つ事柄が正方形の場合でも成り立つかどうか考え、それを説明する場面を設定することが大切です。 (ポイント)「発展的に考える」ことができているかどうか。</p>	<p>正方形に変えて正三角形のときと同じように点を結んで考えてみた場合、$\angle BRP$の大きさについて同じようなことがいえるか考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正三角形は一定になるけど、正方形は一定にならない。 ・$\triangle ABP$と$\triangle BCQ$は合同になる。 ・$\angle BRP$の大きさは90°で一定になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形の場合も$\angle BRP$が一定になるかどうかについて、レポートにまとめることを伝える。

「主体的・対話的で深い学び」と 「とっとりの授業改革【10の視点】」との関わり

本県においては、「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善の視点として位置づけることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながると考えています。

主体的・対話的で深い学び	「とっとりの授業改革【10の視点】」の中で関係の深い視点
<p>＜主体的な学び＞ 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。</p>	<p>① ② ③ ④ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩</p>
<p>＜対話的な学び＞ 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通して、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。</p>	<p>③ ⑤ ⑥ ⑩</p>
<p>＜深い学び＞ 各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。</p>	<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑩</p>

＜資料＞小学生用・中学生用ポスター

※各学校に配布していますので御活用ください。

【小学校用ポスター】

みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう！

とっぴこ学び大作戦！

作戦その1
めあてをもって学習しよう

- 学習のめあてをはっきりとつかもう
- 「なぜだろう？」「調べてみたい！」という気持ちを大切にしよう

作戦その2
考えたことを伝え合おう

- 資料などを使って調べたり考えたりしよう
- 調べたこと、考えたことなどをノートに書いて整理しよう
- 自分の考えを友だちにわかりやすく伝えよう
- おたがいに話し合ってさらによい考えをつくろう

作戦その3
自分の学習をふり返ろう

- わかったこと、わからなかったことを確かめよう
- 「もっと知りたい」「もっとわかりたい」という気持ちを大切にしよう
- 進んで学ぶ習慣をつくろう

みんなで学ぶととても楽しいね！

鳥取県教育委員会

【中学校用ポスター】

みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう！

さらに伸びていくための

学びの秘訣

めあてを持って学習に取り組もう

- 学習のめあてをはっきりとつかもう
- 「なぜだろう？」「調べてみたい！」という気持ちを大切にしよう

よく考え、考えたことを伝え合おう

- 情報を集めて学習に生かそう
- 調べたことや考えたことなどをノートに書いて整理しよう
- 自分の考えを相手にわかりやすく伝えよう
- 友達と話し合って、自分の考えとの違いや共通点を見つけよう

自分の学習をふり返ろう

- 何がどうわかったか（わからなかったか）自分の学びを確かめよう
- 学習のあとの「もっと知りたい」ことや「もっとわかりたい」ことに取り組もう
- 進んで学ぶ習慣をつくろう

みんなで学ぶととても楽しいね！

鳥取県教育委員会

